



JSQA Auditing Skills Seminar 開催報告

2020年3月23日
一般社団法人 日本 QA 研究会
教育委員会 筒泉直樹

仙台で開催された 6th GQAC の会期に併せ、表記の研修会を開催したので報告する。

【開催概要】

研修名：Auditing Skills Seminar（1日コース）

開催場所：仙台国際センター 会議室「橘」

日時：2020年2月17日（月）10:00 – 17:30

講師：Andrew Waddell 氏

参加者：GLP：2グループ（10名）、GCP：4グループ（19名）およびGVP：2グループ（11名）

スタッフ：海田茂典、西村哲、長谷川千恵美、加藤洋一、筒泉直樹（教育委員会）およびJSQA事務局

本研修は、JSQA 三部会共催の教育イベントとして、教育委員会が企画・実施したものである。トピックが特定の部会エリアに偏らず、三部会すべての会員にとって参加意義があり、かつ参加者それぞれが自組織に持ちかえて実務に活用できるプログラムというコンセプトで検討を行い、講師の Waddell 氏の協力で実現した。

研修の流れは以下のようなものであった（別紙タイムテーブルも参照のこと）。

1. ISO19011（マネジメントシステム監査指針）の基本概念の解説
2. 監査の実際（講義、グループディスカッションおよび解説）
 - 2-1 監査の準備
 - 2-2 監査の実施
 - 2-3 監査所見の準備
 - 2-4 クローズアウト会議の実施
 - 2-5 監査報告書の作成
 - 2-6 監査終了後のフォローアップ

3. 総合討論（Q&A を含む）

通常であれば、2日かけて行うコースを1日に凝縮し、かつ通訳なしの英語での講義であったが、参加者たちは、なごやかな雰囲気の中にも適度な緊張感で講義に耳を傾け、積極的な態度でグループワークに取り組んでいたのが印象的であった。また、休憩時間等に講師の Waddell 氏やグループ内外で名刺交換を行う光景がみられた。研修の機会を、部会を超えたネットワーキングの場としても活用しようという意思がうかがえ、主催する側としても喜ばしく感じられた。

研修後に実施したアンケート調査（回答数 37）における本セミナーの総合評価（質問項目「セミナーについて」）は、“とても良かった” 14名、“良かった” 18名、“ふつう” 4名および“無回答” 1名であった。また、参加者から寄せられたコメントでは、監査報告書の基本構成要素として示された“LASER（L =



Location、A = Activity、S = Scale、E = Evidence および R = Requirement)” の概念に関する講義が、実務に活かせる知識であったと好評であった。

一方で、「内容が基礎的なもので、新しい発見はなかった」、「英語がフォローできなかった」といったコメントも少数ながらみうけられた。これらの点については、今後の研修における参加者ターゲティングの明確化や使用言語を検討課題としたい。

以上



研修会場



司会進行役を務める長谷川氏



教育委員会委員長の海田氏の挨拶



Waddell 氏の講義



熱気あふれるグループディスカッション



講師もグループディスカッションに飛び入り参加